

2017年度第9回北陸公法判例研究会開催のお知らせ

余寒の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、下記の通り今年度第9回研究会を開催いたします。多数のご参加をお待ちいたしております。

なお、研究会終了後、報告者の先生方を囲んで懇親会を開催いたします。ご出席いただける方は、3月3日（土）までに山崎にご連絡くださるようお願いいたします。

記

日時： 2018年3月17日（土）13時30分より

会場： 石川四高記念文化交流館（金沢市広坂 2-2-5）多目的利用室3



1. 高見 勝利（北海道大学・上智大学名誉教授）

〔研究報告〕「『主権論』の周辺——高橋和之氏と対話して——」

〈参考文献〉

- ① 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の70年を語る 高橋・高見憲法学との対話1-1 第1回 研究の出発点、憲法学の方法論」法律時報89巻9号（2017年）105 - 114頁
- ② 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の70年を語る 高橋・高見憲法学との対話1-2 第2回 主権論と国家法人論—ドイツ憲法研究とフランス憲法研究（1）」法律時報89巻10号（2017年）88 - 96頁
- ③ 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の70年を語る 高橋・高見憲法学との対話1-3 第3回 国民主権からデモクラシーへ—ドイツ憲法研究とフランス憲法研究（2）」法律時報89巻11号（2017年）135 - 143頁
- ④ 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の70年を語る 高橋・高見憲法学との対話2-1 第4回 55年体制をどう考えるか—議院内閣制（1）」法律時報89巻12号（2017年）88 - 98頁
- ⑤ 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の70年を語る 高橋・高見憲法学との対話2-2 第

5回 統治機構の分析視角—議院内閣制(2)」法律時報 89 卷 13 号 (2017 年) 256 - 264 頁

- ⑥ 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の 70 年を語る 高橋・高見憲法学との対話 2—3 第 6 回 権力分立論と国家の諸作用」法律時報 90 卷 1 号 (2017 年) 84 - 94 頁
- ⑦ 高橋和之＝高見勝利ほか「戦後憲法学の 70 年を語る 高橋・高見憲法学との対話 3—1 第 7 回 司法権の概念」法律時報 90 卷 2 号 (2018 年) 90 - 98 頁

2. 木下 和朗 (岡山大学大学院法務研究科教授)

[研究報告] 「イギリス議会における政治と法の交錯・相互作用」

〈参考文献〉

- ① 木下和朗「イギリスにおける憲法改革—ウェストミンスター・モデルと政治的憲法をめぐって—」比較憲法学研究 25 号 (2013 年) 57-84 頁
- ② 木下和朗「立法過程の改革及び変動と政治部門における権力の拡散」大沢秀介＝川崎政司 (編)『現代統治構造の動態と展望—法形成をめぐる政治と法—』(尚学社・2016 年) 所収 112-150 頁
- ③ 木下和朗「イギリス貴族院の現況—Meg Russell 両院制論に関する解説とコメント—」岡田信弘 (編)『二院制の比較研究—英・仏・独・伊と日本の二院制—』(日本評論社・2014 年) 141-162 頁
- ④ 木下和朗「イギリスにおける人権保障」岡山大学法学会雑誌 67 卷 1 号 (2017 年) 142[37]-108[71]頁